



第66回新聞週間 第21回日本専門新聞 写真コンクール

入選・特別賞・秀作 22点決まる

審査委員長講評

公益社団法人日本専門新聞協会は第66回新聞週間を迎えるにあたり、アマチュア写真愛好家および加齢者団体の社員・読者を対象に、第21回日本専門新聞写真コンクールの作品を募集していたが、審査委員会、理事会でそのうちの入選作品が決定。受賞者は10月15日の日本専門新聞大会フェスティバルにおいて表彰される。



関口 照生氏
日本写真家協会 会長
倉敷芸術科学大学 客員教授

本年度、第21回新聞専門写真コンクールの作品募集はインターネットの他、多数出版された。写真雑誌を媒体として応募を募ったところ、昨年よりはるかに多い1605点の応募をいただいた。会員の作品もまたさることながら、一般公募の作品が増え、賞の向上につながった。写真コンクールの審判は関口照生、南川 浩郎（共に日本写真家協会）の2名と事務局として行ったが、いずれも写真コンクールの審判経験は豊富である。今回の入選作品は、文部科学大臣賞に「森の妖精」一紙の撮影、山根在任の木下滋氏が選ばれた。光るキノコ（シノトモシビタケ）の写真であるこの光るキノコは今では大変人気であること、相葉山をはじめ八丈島、奄美大島等で見られるようになった。僕は以前にも空原の文島で見たことがある。その作品の応募も多くなってきたが、なかなか良い作品に出会わなかった。しかし今回の作品は、100程度の撮影体をフランスとれた原因により、昔の光を手に取り入れた。秀作として表彰しようであるのではないだろう。理事長賞は「獲物を狙うサザ」一紙の撮影、富山県の山口守氏。実にうまい！彼のような作品は日本画を見ているようであった。審査委員長賞は「レトロ路に昭和がよみがえる」で、兵庫県の西村俊裕氏。モノクロを思い切ったアンダーにしてグレイを基調とした作品は、発想とも素人はなされている。暗室作業がさ

ぞ楽しかったこととしよう。加齢者特別賞は「8年目の敗戦、イレーラ」神尾政哉君は「取組む」で、はるの藤本太郎君、記者ならではの作品、男性の表情に打たれた賞に見劣りのないものもあった。特に「百鬼人」(取組む)は力のある作品であったが、今後に期待したい。デジタルカメラがすっかり定着し、美しい写真は手軽に撮れるようになった。しかし美しい写真を内包してあり、思い切った、グローバル社会が進むなかで、理屈を打つ多くの事象の中から一つで心を打つような作品を造り出す努力を期待したい。

関口 照生



文部科学大臣賞

「森の妖精」 木下 滋

「文部科学大臣賞」受賞ありがとうございます。今回の受賞は、写真撮影を趣味とする私にとって大いなる励みになります。さて、私と今回の受賞作品、光るキノコ・シノトモシビタケとの出会いは、6年前那智勝浦での観覧会でした。昭和

の森の中で緑色の光を放つキノコ、まさに「森の妖精」でした。現在も、その生育環境を守るべく多くの方が尽力されています。開発されないから残った自然、その中で生育する希少植物、これからも見守り続けたいと思っています。本当にありがとうございました。



理事長賞

「獲物を狙うサザ」 山口 守

今回この賞を頂き審査にあられた先生方には大変に感謝しております。富山湾に近いところに中島門があり舟の出入りの施設近くに水鳥が餌を捕まえる水門が絶えず、川の堰に流れ落ちている。私は二ヶ月近くここに遭ったある日の夕方近く突然水面が騒がしく真ち里になったその時、数百数千と思われる群魚が飛び跳ね舞い上がる光景は物凄い、いつの間にかサザが何羽も狙っていました。カメラがこれにシャッターを切りました。



審査委員長賞

「レトロ路に昭和がよみがえる」 西村 俊裕

このたびは、審査委員長賞を戴き有難うございました。今年81歳になりましたが、これを励みに、今後も時代をみつめた作品創りを、死ぬま



で続けていきます。この作品は、古き商店街を街角「イイベント」で、昭和をあえてモノクロで表現してみました。色をなくすることで、古い記憶がよみがえることを狙いました。「老いらくの恋の相手はフォトグラフィ！」





第66回新聞週間 第21回日本専門新聞 写真コンクール

加盟社社員・読者及び一般応募 全国から1,605点



加盟社特別賞

「8年目の敗訴
・イレッサ最高裁判決」
株式会社じほう 藤本 太郎

製菓産業専門の記者として、イレッサ副作用裁判で敗訴し、直接の読者である製菓企業や行政だけではなく、敗訴した原告の患者・遺族らのまでもできるだけ伝えたいと感じていました。写真を通じて、この悲しい出来事を人々の記憶に残し、産業の健全な発展につながればと願っています。取材にご協力いただいた皆さま、本作品を選んでいただいた日本専門新聞協会と審査員の皆さまには重ねて感謝を申し上げます。ありがとうございました。



加藤 隆司 (組)



土屋 剛幸



白澤 拓也 (組)



竹村 悦子



門林泰志郎 (組)



長山 聡



鹿島 和生



佐藤 義秋



中村 昭夫



宮沢 千春 (組)



西田 隆



長谷川 剛子



本山 尚志



西 正幸



鈴木 康友 (組)



根本 祐輔



早野 由香



吉田 宏 (組)



山口 翔平



藤本 雅巳



間瀬 一希 (組)



早野 由香



吉田 宏 (組)



山口 翔平



藤本 雅巳

秀作

順不問

招待作品

順不問

文部科学大臣賞	「森の妖精」	木下 滋	一般応募
理事長賞	「獲物を狙うサギ」	山口 守	一般応募
審査委員特別賞	「レトロ路に昭和がよみがえる」 (組)	西村 俊裕	一般応募
加盟社特別賞	「8年目の敗訴 イレッサ最高裁判決」	藤本 太郎	じほう
秀作	「晴姿」	鹿島 和生	一般応募
	「ヘルメットよし！安全よし！行ってきます!!」 (組)	加藤 隆司	大分建設新聞社
	「いとしき」 (組)	門林泰志郎	一般応募
	「銀える力士」	佐藤 義秋	環境新聞社読者
	「雲職人」 (組)	白澤 拓也	一般応募
	「伝承桐見川七夕祭り」	竹村 悦子	一般応募
	「やどり」	土屋 尚幸	一般応募
	「可憐を惜しんで」	中村 昭夫	一般応募
	「ママのロンドンタクシーでどうぞ」	長山 聡	東京交通新聞社

「時の借人」	西 正幸	一般応募
「白虹」	西田 隆	白川木材新聞社読者
「開通前の貴重な体験」	根本 祐輔	福島建設工業新聞社
「抜け殻？」	長谷川 裕子	一般応募
「初日の出の海」	早野 由香	一般応募
「商店街での火事」 (組)	間瀬 一希	桜経読者
「レースの日」	宮沢 千春	日本電気協会新聞読者
「ナイスキャッチ」	本山 尚志	日本工業経済新聞社
「子供歌謡夜」 (組)	吉田 宏	観光経済新聞社読者
「雷のみち」	山口 翔平	日本電気協会新聞部
招待作品 (過去10年に文部科学大臣賞を受賞し審査に通ったもの)	「樹木と一体感ある構造美」 (組)	鈴木 康友 銅構造出版
	「青伸び」	中国 昌志 大分建設新聞社
	「一橋に道ほ」	藤本 雅巳 日本教育新聞社 (順不問・複数席)